

まはろの5領域

5領域を踏まえた支援について

理念: 「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」という総合的な支援である5領域を踏まえ、子どもたち一人ひとりの可能性を信じ、それぞれのニーズに応じた支援を提供します。

☆5領域について

健康・生活	<ul style="list-style-type: none">・健康管理：検温、手洗いうがい、アルコール消毒を自分自身で管理をし、絵カードなどを用いながらルーティンを覚えていく。また、一人ひとりのリズムを崩さないようにする。・スタッフは挨拶をすることで利用者の顔色や様子を観察、また部屋の換気など環境を整える。・調理活動などを通して、健康的な食生活の大切さを学び、基本的な料理法などを学ぶ、個々の食への関心、興味、生活スキルUPをしていく。・ポイント活動による手伝いへの興味、意欲を高めていく・決まった時間に学習・場面・気持ちの切り替え
運動・感覚	<ul style="list-style-type: none">・公園などで思い切り身体を動かす粗大運動・物を食べる時、宿題などを行なう時の座るときの姿勢・工作活動を通じた鋏の使い方など巧緻性を養う。・スライム・スーパーボール作り、粘土あそびなど、触感を養う遊び・絵を描くことで空間認知や感動、達成感を得ること、それによって高揚感を体験する。・TVゲーム、プリントを利用した視覚や手指運動の協応・一定時間の着座・正しい姿勢で学習→体感の形成
認知・行動	<ul style="list-style-type: none">・自分のことは自分でできるようにする・外出時の信号確認、周囲への危険察知認知を・公共の施設、公園、川などで遊び、集団活動を意識する・決まった時間に1時間おきの水分補給の声掛け

	<ul style="list-style-type: none"> ・数感覚、計算能力、記憶力、ワーキングメモリー、ミスを受け入れる力・修正力の支援 ・時間を計って学習したり、買い物を通してお金の計算の理解
<p>言語 コミュニケーション</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びの中で文字を読んだり、書いたりする機会の導入 ・クッキング等で協力し、ほかの子に指導しながら出来るようにする ・職員や友達に対して挨拶、会話のやり取りを通してコミュニケーションを養っていく。 ・異年齢での交流で、言葉使い、関わりを学んでいく。 ・帰りの会での「楽しかった事」を発表することで自分の気持ちを相手に伝える力・分かるように説明するなどを養う。 ・職員や友達との会話、表情や気持ちのプリントを行なうことで自分の気持ちを表現したり、相手の気持ちを理解できるように支援していく。
<p>人間関係 社会性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールのある遊び（ゲームやトランプ）などで、友達と協力する面白さと体験を養う。 ・他者との関わり形成、相手への興味、気持ちの気づき、相手が喜ぶ行動や言葉かけを一緒に考える。 ・公共の施設へ出かけ、公共の場でのルールを学ぶ ・地域イベント参加することで地域社会への貢献、他者への思いやりを育てる。 ・自己への理解と行動の調整をしながら、仲間づくりと集団への参加を促していく。 ・挨拶やルーティンの確認をしていく。